

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

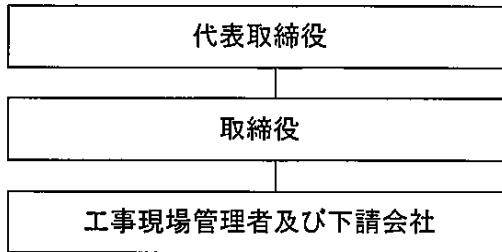
産業廃棄物処理計画書		令和 6年 6月30日
豊橋市長 殿		
提出者		
住所 愛知県田原市仁崎町浜辺4番地		
氏名 株式会社 加藤土木解体		
代表取締役 加藤高志		
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)		
電話番号 0531-25-0374		
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>		
事業場の名称	株式会社 加藤土木解体	
事業場の所在地	豊橋市内各工事現場	
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
① 事業の種類	06 総合工事業	
② 事業の規模	豊橋市内分 元請完成高： 5,000万円	
③ 従業員数	28名	
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	建物解体工事 がれき類 → 再生処理業者に委託して、再生砕石として資源化 木くず → 再生処理業者に委託して、燃料チップとして資源化 廃プラスチック類 → 再生処理業者に委託して、原料として再資源化 ガラス陶磁器くず → 再生処理業者に委託して、原料として再資源化 繊維くず → 再生処理業者に委託して、燃料として再資源化 紙くず → 再生処理業者に委託して、燃料として再資源化	

(日本工業規格



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり		
	排出量			
	(これまでに実施した取組) 工事現場内での廃棄物分別の徹底			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり		
	排出量			
	(今後実施する予定の取組) 現状維持			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類、木くず、紙くず、繊維くず、廃プラスチック類、金属くず、ガラス陶磁器くずを分別している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 年の取組を継続する

前

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（ 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	—	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	—	—	—
	(これまでに実施した取組) 分別の徹底			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	—	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	—	—	—
	(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（ 4年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり		
	全処理委託量			
	優良認定処理業者への処理委託量			
	再生利用業者への処理委託量			
	認定熱回収業者への処理委託量			
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量			
	(これまでに実施した取組) 廃棄物分別の徹底			

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり		
	全処理委託量			
	優良認定処理業者への処理委託量			
	再生利用業者への処理委託量			
	認定熱回収業者への処理委託量			
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量			
	(今後実施する予定の取組) 現状維持			
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

令和5年度の産業廃棄物発生量及び令和6年度の目標

項目	産業廃棄物の種類 (名称)					(単位: t/年)						
	がれき類	木くず	廃プラスチック類	ガラス陶磁器くず	繊維くず	紙くず	合計					
5年度	196.13	92.16	53	33.5	6	0	380.79					
①							0					
②							0					
③							0					
④							0					
⑤	196.13	92.16	53	33.5	6	0	380.79					
⑥							0					
⑦	196.13	92.16	53	33.5	6	0	380.79					
⑧							0					
⑨							0					
6年度	200	90	50	35	10	10	395					
①							0					
②							0					
③							0					
④							0					
⑤	200	90	50	35	10	10	395					
⑥							0					
⑦	200	90	50	35	10	10	395					
⑧							0					
⑨							0					

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

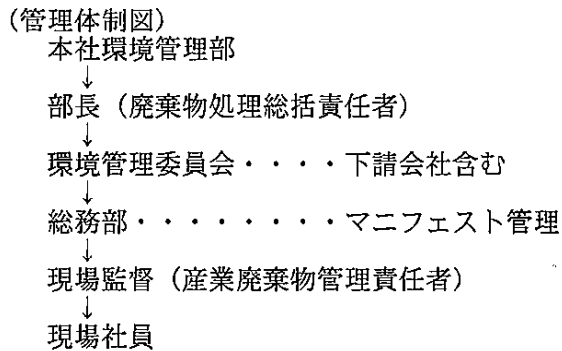
産業廃棄物処理計画書	
令和 6年 月 日	
豊橋市長 殿	
提出者	
住所 愛知県豊橋市下地町「字若宮66番地	
氏名 朝日通商株式会社 代表取締役 萩原 泰子	
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0532-52-0311	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	朝日通商株式会社
事業場の所在地	愛知県豊橋市下地町字若宮66番地
計画期間	令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06：総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高：9,479万円
③ 従業員数	14人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	建物解体工事： アスコンがら・ガラス・陶磁器くずコンクリートがら→再生処理業者に委託して、再生砕石として再資源化 混合物→再生処理業者に委託して、分別、再資源化 その他がれき類→再生処理業者に委託して、再生砕石として再資源化 繊維くず→再生処理業者に委託して、再資源化 木くず→再生処理業者に委託して、チップとして再資源化 廃プラスチック類→再生処理業者に委託して、粉碎、再資源化

(日本産業規格 A列4番)

36.7.2

豊橋市
第 号
環 境

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



①現状	【前年度 (令和5年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	アスコンがら	ガラス・陶磁器くず
	排出量	56 t	10 t
	(これまでに実施した取組) 現場で分別し、まとめて処分業者へ運搬する		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスコンがら	ガラス・陶磁器くず
	排出量	56 t	10 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類、金属くず、木くず、がれき類はそれぞれ分別し、再生処分業者へ運搬する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスコンがら	ガラス・陶磁器くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスコンがら	ガラス・陶磁器くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスコンがら	ガラス・陶磁器くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスコンがら	ガラス・陶磁器くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスコンがら	ガラス・陶磁器くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスコンがら	ガラス・陶磁器くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスコンがら	ガラス・陶磁器くず
	全処理委託量	56 t	10 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	56 t	10 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスコンがら	ガラス・陶磁器くず
	全処理委託量	56 t	10 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理 委託量	56 t	10 t
	認定熱回収業者への処 理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- 3 (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

令和5年度の産業廃棄物発生量及び令和6年度の目標

項目	産業廃棄物の種類 (名称)										合計
	アスコンから	ガラス・陶磁器 くず	コンクリート がら	その他の かれき類	混合	石綿含有 産業廃棄物	繊維くず	廃プラスチック類			
令和5年度の産業廃棄物発生量	56,000	10,000	1563,000	247,420	414,700	7,500	5,930	19,670			2324,22
①自ら再生利用した量	-	-	-	-	-	-	-	-			-
②自ら熱回収を行った量(1/年)	-	-	-	-	-	-	-	-			-
③自ら中間処理により減量した量	-	-	-	-	-	-	-	-			-
④自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	-	-	-	-	-	-	-	-			-
⑤全処理委託量	56,000	10,000	1563,000	247,420	414,700	7,500	5,930	19,670			2324,22
⑥優良認定処理業者への処理委託量	-	-	-	-	-	-	-	-			-
⑦再利用業者への処理委託量	56,000	10,000	1563,000	247,420	414,700	7,500	5,930	19,670			2324,22
⑧認定熱回収業者への処理委託量	-	-	-	-	-	-	-	-			-
⑨認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	-	-	-	-	-	-	-	-			-
令和6年度の産業廃棄物発生量	56,000	10,000	1563,000	247,420	414,700	7,500	5,930	19,670			2324,22
①自ら再生利用した量	-	-	-	-	-	-	-	-			-
②自ら熱回収を行った量(1/年)	-	-	-	-	-	-	-	-			-
③自ら中間処理により減量した量	-	-	-	-	-	-	-	-			-
④自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	-	-	-	-	-	-	-	-			-
⑤全処理委託量	56,000	10,000	1563,000	247,420	414,700	7,500	5,930	19,670			2324,22
⑥優良認定処理業者への処理委託量	-	-	-	-	-	-	-	-			-
⑦再利用業者への処理委託量	56,000	10,000	1563,000	247,420	414,700	7,500	5,930	19,670			2324,22
⑧認定熱回収業者への処理委託量	-	-	-	-	-	-	-	-			-
⑨認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	-	-	-	-	-	-	-	-			-

(単位: t/年)

令和5年度の産業廃棄物発生量及び令和6年度の目標

項目	産業廃棄物の種類 (名称)		木くず	焼石膏ボード	合計	
5 年 度 の 実 績	5年度の産業廃棄物発生量					376.68
	①自ら再生利用した量					0.00
	②自ら熱回収を行った量(t/年)					0.00
	③自ら中間処理により減量した量					0.00
	④自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量					0.00
	⑤全処理委託量					376.68
	⑥優良認定処理業者への処理委託量					206.84
	⑦再利用業者への処理委託量					376.68
	⑧認定熱回収業者への処理委託量					0.00
	⑨認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量					0.00
6 年 度 の 目 標	〇〇年度の産業廃棄物発生量					376.68
	①自ら再生利用した量					0.00
	②自ら熱回収を行った量(t/年)					0.00
	③自ら中間処理により減量した量					0.00
	④自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量					0.00
	⑤全処理委託量					376.68
	⑥優良認定処理業者への処理委託量					206.84
	⑦再利用業者への処理委託量					376.68
	⑧認定熱回収業者への処理委託量					0.00
	⑨認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量					0.00

(単位：t/年)

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書		令和6年6月11日
豊橋市長 殿		
提出者		
住所 愛知県豊橋市野依町字三割1番地1		
氏名 愛知三協株式会社		
代表取締役社長 鈴木 郷		
電話番号 0532-25-1437		
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。		
事業場の名称	愛知三協株式会社 愛知コンクリート	
事業場の所在地	愛知県豊橋市野依町字三割1番地1	
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
① 事業の種類	21: 窯業・土石製品製造業	
② 事業の規模	売上高: 63,327万円	
③ 従業員数	9名	
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	工事現場で余ったコンクリート → 残コン	

(日本産業規格 A列4番)



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
社長 工場長 (産業廃棄物処理総括責任者)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度 (令和5年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	プラスチック類他
	排出量	5,810.90 t	7.00 t
	(これまでに実施した取組) ・硬化破碎処理を行い路盤材として再利用。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	プラスチック類他
	排出量	5,700.00 t	3.50 t
	(今後実施する予定の取組) ・硬化破碎処理を行い路盤材として再利用。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・コンクリート塊 (無筋) を分別し、保管している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特になし		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	プラスチック類他
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	684.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組) ・硬化破碎処理を行い路盤材として再利用		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	プラスチック類他
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	600.00 t	0.00 t
	(今後実施する予定の取組) ・硬化破碎処理を行い路盤材として再利用		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	プラスチック類他
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
(これまでに実施した取組) ・特になし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	プラスチック類他
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
(今後実施する予定の取組) ・特になし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	プラスチック類他
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組) ・特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	プラスチック類他
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	(今後実施する予定の取組) ・特になし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	プラスチック類他
	全処理委託量	5,126.90 t	7.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	7.00 t
	再生利用業者への処理委託量	5,126.90 t	0.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組) ・可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	プラスチック類他
	全処理委託量	5,100.00 t	3.50 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	3.50 t
	再生利用業者への処理委託量	5,100.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる。 			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

令和5年度の産業廃棄物発生量及び令和6年度の目標

(単位：t/年)

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	ガラス・陶磁器くず	プラスチック類他						合計
5 年 度 の 実 績	令和5年度の産業廃棄物発生量	5,810.90	7.000						5817.90
	①自ら再生利用した量	684.00	0.000						684.00
	②自ら熱回収を行った量(t/年)	0.00	0.000						0.00
	③自ら中間処理により減量した量	0.00	0.000						0.00
	④自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0.00	0.000						0.000
	⑤全処理委託量	5,126.90	7.000						5133.90
	⑥優良認定処理業者への処理委託量	0.00	7.000						7.00
	⑦再利用業者への処理委託量	5,126.90	0.000						5126.90
	⑧認定熱回収業者への処理委託量	0.00	0.000						0.00
	⑨認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	0.000						0.00
6 年 度 の 目 標	令和6年度の産業廃棄物発生量	5,700.00	3.500						5703.50
	①自ら再生利用した量	600.00	0.000						600.00
	②自ら熱回収を行った量(t/年)	0.00	0.000						0.00
	③自ら中間処理により減量した量	0.00	0.000						0.00
	④自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0.00	0.000						0.00
	⑤全処理委託量	5,100.00	3.500						5103.50
	⑥優良認定処理業者への処理委託量	0.00	3.500						3.50
	⑦再利用業者への処理委託量	5,100.00	0.000						5100.00
	⑧認定熱回収業者への処理委託量	0.00	0.000						0.00
	⑨認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	0.000						0.00